



交換用スチロールライナー

取扱説明書

この度は当社製交換用スチロールライナーをお買い上げ頂き、お礼申し上げます。
交換用スチロールライナーを使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用してください。

【この説明書を読んだ後も大切に保管してください。】

警告

- ① この交換用スチロールライナーは当社製保護帽専用です。他社製品には絶対使用しないでください。安全性能は保護帽全体のバランスによって発揮されます。指定部品でないものを使用すると、安全性能を発揮できなくなり大変危険です。(必ず品番をご確認ください。)
- ② この交換用スチロールライナーは、あくまでも当社製墜落時保護用の交換部品です。その他の目的(墜落時保護用でない保護帽への取付け、他社製品への取付け、自転車用ヘルメット等への取付け)には絶対使用しないでください。
- ③ 交換用スチロールライナーの交換方法を間違えたり、品番を誤って取付けると安全性能を発揮することができなくなり大変危険です。下記の「ライナーの種類」「交換方法」に従ってください。
- ④ 現在ご使用の保護帽のスチロールライナーに〔労・検〕の検定ラベルが貼られている場合は、絶対に剥がさないでください。

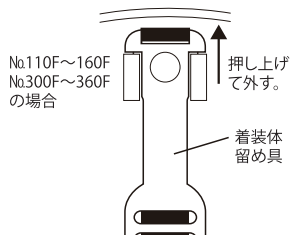
ライナーの種類

保護帽の品番	交換用スチロールライナーの種類	取付方向の目印	粘着付き
No.1 1 0 F, No.2 1 5 F, No.2 1 7 F	TOYO SAFETY	刻印 後頭部側	○
No.2 8 0 F, No.3 1 0 F	TOYO SAFETY	刻印 前頭部側	○
No.1 4 0 F	TOYO	刻印 前頭部側	○
No.1 6 0 F	TOYO	刻印 後頭部側	○
No.1 7 0 F, No.1 7 1 F	F-170	矢印 前頭部側	
No.3 7 5 F, No.3 8 5 F	FB	矢印 前頭部側	○
No.2 1 9 F	K-2	矢印 前頭部側	
No.2 1 4 F	F-214	矢印 前頭部側	○
No.3 9 0 F	F-390	矢印 前頭部側	
No.3 0 0 F	F-300	矢印 前頭部側	○
No.3 6 0 F, No.2 6 0 F	F-360	矢印 前頭部側	○
No.3 7 0 F, No.3 8 0 F	F-380	矢印 前頭部側	○
No.3 9 1 F, No.3 9 2 F	F-391	矢印 前頭部側	
No.3 9 3 F	No.393	矢印 前頭部側	○
No.3 9 5 F	No.395	矢印 前頭部側	○
No.3 9 6 F	No.396	矢印 前頭部側	
No.3 9 7 F, No.3 9 8 F	No.398	矢印 前頭部側	
No.3 2 2 0 F	No.3220	矢印 前頭部側	○

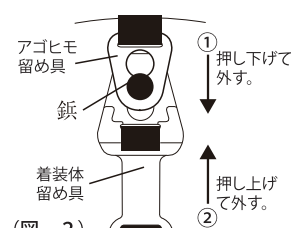
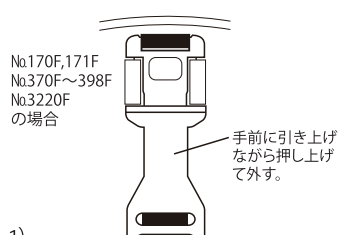
交換方法

【まず完成品を観察し、構造を十分把握してください。】

- ① 4ヶ所の着装体留め具を外して、着装体(内装)を外してください。(図-1参照)
アゴヒモを邪魔にならないよう保護帽外側に回してください。
- ◆ No.214, No.215F, No.217F, No.219F, No.260F, No.280F(FRP製帽体)の場合はアゴヒモ留め具を先に外してから着装体留め具を外してください。(図-2参照) 尚、着装体留め具とヘッドバンドが外れている場合は、元の状態に戻してください。



(図-1)



(図-2)

- ② スチロールライナーに検定ラベルが貼付してある場合は、新しい〔労・検〕の検定ラベルに古い〔労・検〕の検定ラベルの製造年月日を記入し、交換用スチロールライナーの後頭部に貼ってください。
- ③ 交換用スチロールライナーの粘着スポンジの紙を剥がしたあと帽体に挿入し、取付方向(刻印の位置)及び前後左右の形状を確認したあと帽体に接着してください。(粘着スポンジ無しの場合は、取付方向を確認の上そのまま挿入してください。)

【発売元】株式会社トヨセフター

兵庫県三木市別所巴21-1 三木工場公園
TEL:0794-83-7777 FAX:0794-83-0006
URL: <http://toyo-safety.co.jp>

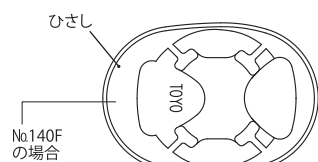
消費者相談室 TEL:0794-83-0155

日本ヘルメット工業会会員

【製造元】東洋物産工業株式会社

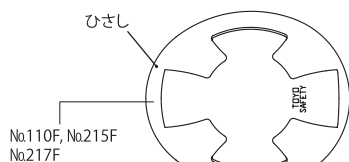
- 疑問や不明な点がございましたら上記の当社消費者相談室までご連絡ください。
- この取扱説明書を紛失した場合も、同室までご請求ください。

◆保護帽の品番により、交換用スチロールライナーの前後の向きが決められています。前後の向きに関しては、前記「ライナーの種類」及び(図-3～図-19)に従ってください。



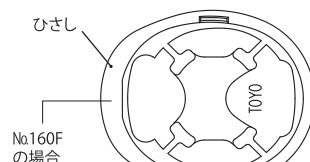
ひさし
No.140F
の場合

※TOYOの刻印を前側
(図-3)



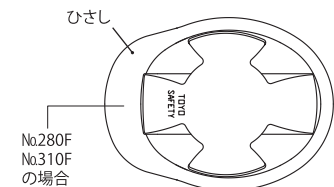
ひさし
No.110F, No.215F
No.217F
の場合

※TOYOSAFETYの刻印を後側
(図-4)



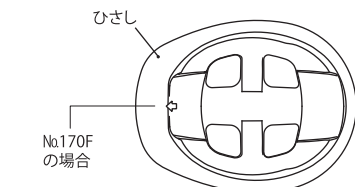
ひさし
No.160F
の場合

※TOYOの刻印を後側
(図-5)



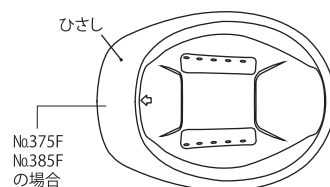
ひさし
No.280F
No.310F
の場合

※TOYOSAFETYの刻印を前側
(図-6)



ひさし
No.170F
の場合

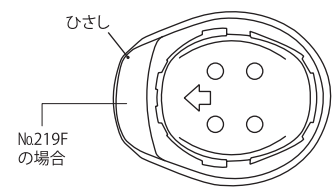
(図-7)



ひさし
No.375F
No.385F
の場合

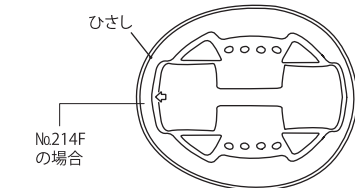
ヘルメットの穴位置を確認してください。

(図-8)



ひさし
No.219F
の場合

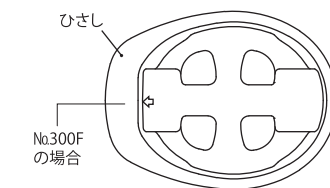
(図-9)



ひさし
No.214F
の場合

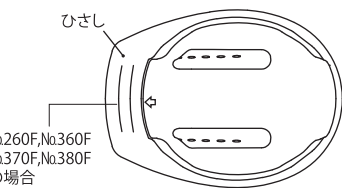
ヘルメットの穴位置を確認してください。

(図-10)



ひさし
No.300F
の場合

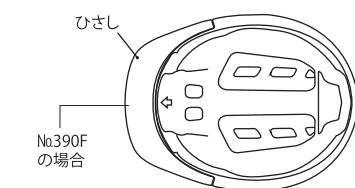
(図-11)



ひさし
No.260F, No.360F
No.370F, No.380F
の場合

ヘルメットの穴位置を確認してください。

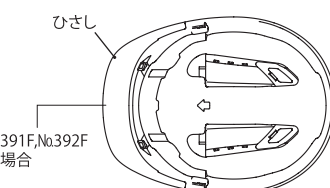
(図-12)



ひさし
No.390F
の場合

ヘルメットの穴位置を確認してください。

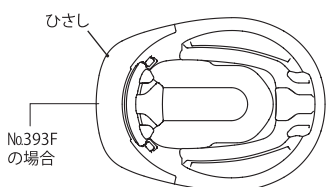
(図-13)



ひさし
No.391F, No.392F
の場合

ヘルメットの穴位置を確認してください。

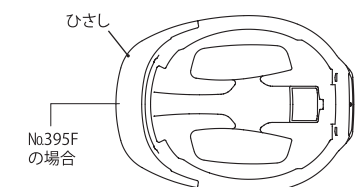
(図-14)



ひさし
No.393F
の場合

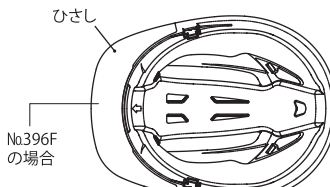
No.393Fの場合は2種類のスチロールライナーが取付けられています。

(図-15)



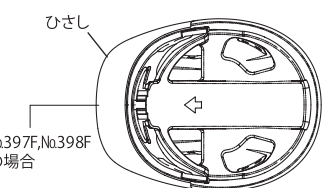
ひさし
No.395F
の場合

(図-16)



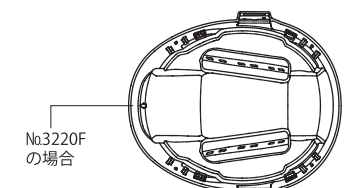
ひさし
No.396F
の場合

(図-17)



ひさし
No.397F, No.398F
の場合

(図-18)



ひさし
No.3220F
の場合

(図-19)

④ 着装体(内装)を元の状態に戻してください。

尚、4ヶ所の装着体留め具は、「パチン」と音がする所まで押し込んでください。
また、ヘッドバンドのサイズ調節部が後頭部側になっていることを確認してください。

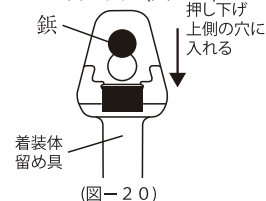
◆ No.214, No.215F, No.217F, No.219F, No.260F, No.280Fの場合は、帽体穴の外側より鉗をセットし、先に装着体(内装)のみ元の状態に装着してください。尚、4ヶ所の装着体留め具を(図-20)の状態まで押し込んでください。

⑤ アゴヒモを元の位置に戻してください。

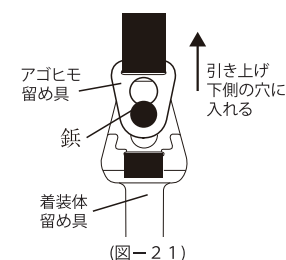
◆ No.214, No.215F, No.217F, No.219F, No.260F, No.280Fの場合は、4ヶ所のアゴヒモ留め具を(図-21)の状態まで引き上げてください。

⚠ 注意

- ① 交換用スチロールライナーの上に重いものは置かないでください。
ひび割れ、へこみ、欠け等の原因となり大変危険です。
- ② 高温(50℃以上)になる場所に置いたり、保管したりしないでください。
- ③ 直射日光のあたる場所に保管しないでください。



(図-20)



(図-21)